



# くまがみね

学校だより  
2023 (令和5) 年10月31日  
福山市立熊野小学校

## 「子ども主体」の授業づくり ～ AI型ドリルの導入に向けて ～

### 全員一律の「宿題」は必要か？

先月の学校だよりで「宿題がない学校」についての話題を載せました。

今の時代、自分で考え、自己決定できる人材が求められています。これまでのような与え続ける教育では、このような人材は育ちません。これからの時代は、何を学んで(カリキュラム)、どう学ぶか(学び方)、学ぶ側の立場から教育を考えていく。「子ども主体の学び」に転換していかなければなりません。

与え続ける教育からの脱却が容易ではないため、まずは「宿題をなし」にする。そうなった場合に、子ども自身が自分に必要な課題を考え、進んで家庭学習ができるように、授業づくりから変えていく必要感が生まれるのではないかと考えています。

### 本校の研究内容

本校では、単元を通して児童が身に付けるスキルを明確にし、「くまのステップ」を児童と共有しながら授業を進めています。「くまのステップ」とは：①レディネス ⇒ ②スキルを明確にした授業 ⇒ ③身に付けたスキルの活用

この3ステップで特に大切なのが①のレディネス。プレテストなどを通して、一人一人の学習状況、つまずきなどをていねいに把握し、それらをふまえた単元の学習展開を考えることができるかどうか。授業の中で一人一人に支援をしたり、一人一人に合った課題を先生と児童と一緒に考えたりすることができるのが理想です。

### 主体的な学びをサポートする「AI型ドリル」

上述した本校の取組は、研修で深めながら今後も継続していきます。一方で、教職員の働き方改革の推進という課題もあります。そこで、新たな取組として、「AI型ドリル」を導入してみたいと考えています。教材にAI(人工知能)を導入し、児童の理解度に応じて演習問題を反復したり、自動選択で表示したりする等の機能をもたせたものです。一人一人異なる間違いの原因をAIが解析し、一人一人に合わせて最適な問題を出題してくれます。つまずきのポイントに応じて、過去の単元や前の学年の分野などにも戻って出題してくれるようです。

今年度3学期だけ、全学年、無償で試すことができるという情報提供がありましたので、導入してみたいと思います。本格的に導入するとなると、費用面で保護者のみなさまにご負担をおかけするため、慎重に判断をしなければなりません。ご意見、ご感想があればお聞かせください。

## “稲刈り”体験 ～ 5年生「山田米について知ろう」～

5年生の「米作り体験」。今回は「稲刈り」をさせていただきました。鎌を使って根元から刈り取り、藁で縛っていく作業を体験しました。「山田の里農園」の周辺は、お米が実った穂がいっぱい「黄金色」でした。今回も地域のみなさまにご協力をいただきました。ありがとうございました。



11月12日の「里山わくわく祭り」でお米の販売の体験もさせていただく予定です。

## 校長室も学びの場に「校長先生に挑戦！」コーナーより

校長室前の「校長先生に挑戦！」コーナー。

11月は、星座シリーズ「冬の大三角」が課題です。

冬の星座を代表するオリオン座。オリオン座の四角形の左上で輝いている星が「ベテルギウス」で、冬の大三角の頂点の一つの星です。

冬は湿度が下がることにより、空気が乾燥し空気中の水蒸気が減ることから、星空がきれいに見えるとされています。夜空を見上げて、冬の大三角をさがしてほしいです。

